



大手前中学校・高等学校 入試について あなたの輝きを大切に育てる

大手前中学校・高等学校教頭 南登章生

大阪の私立中学61校は、それぞれ独自の教育改革を推進、昨春の入試では、61校中の45%が定員を充足。厳しい入試の中、お陰様で本校は志願者も順調に伸び、ほんの少しレベルも上昇しています。

今年の入試での変更点は、中学での「特進・進学」クラスでの募集。入試科目も「国語・算数」型の入試、高校でも、専願入試のみではなく、本年より茨木との提携も解け「併願入試」を導入する事となりました。

外部や学部での入試説明会も好調。塾などでも入学時は低いが伸びず学校と言われ、志願者も20%増。163名入学の新中1の模試などでの好

成績が理解されつつあるようです。

昨年度、定員を遥かに超える歩留まりには、卒業生のご師弟や在校生の弟妹の増加があげられます。心強いリピーターと言えます。

ただ、本年は勝手なことをする一校を除いて、1月14日の「中学統一入試」となりました。受験回数が1〜2回程度減り、各校が合格者を多く出すことも予想できるため、なかなか厳しい入試となりそうです。

今後とも皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。

中学校入試

●募集クラス・募集人数

特進 約35名1クラス 進学 約35×3クラス

●入試日程・出願・発表

中学入試 A日程	1月14日(土) 9:00~
出願	1/5~1/13 事務室のみ郵送不可 午前9時~午後3時 土日祝日も受付
発表	1/15 午前10時~午前11時 学校手渡
中学入試 B日程	1月16日(月) 15:00~
出願	1/5~1/16 事務室のみ郵送不可 当日15時 午前9時~午後3時 土日祝日も受付
発表	1/17 午前10時~午前11時 学校手渡
中学入試 C日程	1月19日(木) 9:00~
出願	1/5~1/18 事務室のみ郵送不可 当日9時 午前9時~午後3時 土日祝日も受付
発表	1/19 夕刻電話

●入試科目

全日程	
①国語	45分・100点
②算数	45分・100点
面接	

高等学校入試

専願・併願 本年度より「併願」も導入

●募集クラス・募集人数 外部より併せて約30名

- ①特進クラス 国立大学進学
- ②進学文理クラス 難関私立大学進学
- ③インターナショナル(国際留学)クラス
- ④Eカント(総合文系・起業家育成)クラス

●入試日程

高校入試 1次	2月10日(金)、11日(土)
出願	1/23~2/3 事務室のみ郵送不可 午前9時~午後3時 日曜可
発表	2/11(土)夜 書類郵送

●入試科目 国語・数学・理科・社会・英語

[45分/各100点/500点満点]・面接

●1.5次 2月16日

国語・数学・英語
[45分/各100点/300点満点]・面接

●2次

3月25日
国語・数学・英語
[45分/各100点/300点満点]・面接

お問い合わせは

教頭 南 入試対策室長 渋谷 入試対策部長 歌丸まで

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20 06-6942-2235 <http://www.otemon-js.ed.jp/>
お知り合いの御方がいらっしゃいましたらご紹介下さい



小原 義弘 さん 大手前 中・高22期(昭和49年卒)



鹿児島で初代が明治8年より日本茶の畑から製造卸売を始め3代目の両親が昭和26年に大阪で卸・小売の商売を始め私も継いで25年になります。最近では緑茶ブームでペットボトル茶がもてはやされていますが、はたして中味はどうなのでしょう？ 確かにとても便利で加糖されていませんが、私としては ①一体100gくらいのお茶が入っているのか？ ②この産地のお茶なのか？ ③空ペットのゴみは最終段階でどう処理されるのか？ 等、問題点があります。500cc空ペットボトルに湯ぎました水を入れ家にあるどんなお茶でもいいから5gくらいお茶パックに入れて軽く振って30分もすると経済的で香りのあるお茶が飲めるので一度試して下さい。

私の店では主に鹿児島茶が中心ですが、静岡(本山・菊川・天竜川・川根)産

宇治(和東・宇治田原)産 福岡(八女)産 等のお茶を扱い、毎年畑を見に行きます。それは毎年各産地で出来が違うので昨年は宇治がおいしかった今年は鹿児島がおいしいとか毎年気候によって農産物は大きく左右されます。新茶時期(4~5月)には各産地に出向き大阪の水に合うブレンドをするんですが、これが結構大変な作業なんですが楽しみでもあります。

祖父と父が鹿児島で紅茶も栽培していたので紅茶も大好きで紅茶の講習会で紅茶研究家としても知られるティーハウス「ムジカ」の堀江俊樹さんと知り合い2001年11月にインドダージリンのラングリー・ラグリオット茶園に同行し紅茶の摘採から製造まで視察体験し「ムジカ」の紅茶を扱わせて頂くきっかけになりました。

今日日本ではお茶(緑茶・紅茶・ウーロン茶)は多種のペットボトル茶が氾濫していますが改めてキューズやポットを使って茶葉を正しく消費する事が人と人のふれ合いや環境保護にはかかせないものだと思います。